

ロックコープスがやってきた

4時間のボランティア活動参加で、ライブチケットがゲットできる…ロックコープスの活動は、日本では東日本大震災後の福島からスタートしました。回を重ねて6回目となる今年、セレブレーションと名付けられたライブコンサートの会場をこれまでの都内から福島県白河市に戻して、開催されることが決まりました。そして、毎回ボランティアの受け入れを行っているピープルでも、7月14日と8月11日の2回、コットン畑での活動受け入れを行うことになりました。

7月14日は、あいにくの雨模様。小名浜上神白のコットン畑は、震災前、学校田だった場所で、何年ものコットン栽培で土壌に変化は生まれてきているものの、ひと雨降ればたちまちドロドロのぬかるみだらけになることから、畝間に溜まった水を抜くための溝掘りの作業が欠かせません。この溝掘りの作業を、ボランティアの皆さんに行ってもらおうということになりました。ただ、雨の中の作業はかなり体力的に負荷が大きいことから、雨に濡れないで行える作業として、倉庫での古着仕分けの作業も別メニューとしてお願いすることにしました。



ロックコープスの参加者

35名の参加者はほぼ同数に分かれて、泥まみれと古着まみれになりながら、4時間のボランティア活動に汗を流してくれました。次回回は、天候に恵まれることを祈りたいと思います。

SDGs・チャリティイベントINみんなの交流館でのおさがりバザー

7月15日にパルシステム福島みんなの交流館でチャリティイベントが開催され、ピープルは「おさがりバザー」で参加しました。当日は、オープン前から行列ができる程の賑わいでした。約3,000着の子供服を前に皆さん熱心に選んでいました。同会場では衣類回収とフードドライブを実施、沢山の食品と衣類が集まりました。また、パルシステム福島様よりご寄付を頂きました。大変ありがとうございました。



▲沢山の人で賑わった「パルシステム福島みんなの交流館」

ピープル主催の恒例おさがりバザーは 9/8(日)にヨークタウンアクロスプラザ大原でAM10:00~開催します。

コヤマドライビングスクールからの先生ボランティア

都内と神奈川で自動車学校を運営している「コヤマドライビングスクール」から教習所の先生たちが、夏休みの時期を外すようにしてボランティア活動にお見えになるのが、毎年の恒例行事になりつつあります。1グループ3名から6名程度で、かわいらしいスクールバスに相乗りで登場し、古着リサイクルとコットン栽培の双方の活動を4日間にわたってお手伝いして下さるのです。

20代の若い先生方は全員非常にパワフルで、日ごろ気にはなりながらも手が回らずにいた作業をどんどんこなして下さいます。本会スタッフたちにとって、本当に心強い助っ人です。

秋の部は、9月からのスタートの予定です。こうした形で企業の方々と一緒にできることが、私たちにとって大きな励みになります。

▼コヤマドライビングスクールの皆様



留学生のための福島浜通りを知るエクスカージョンの開催間近

8月1, 2日、新宿発着の1泊2日で浜通りのエリアを巡るエクスカージョンが、企画されています。地球環境基金の助成を受けて行われるこの事業。エクスカージョン参加留学生の皆さんに、参加後にご自身の体験を母国語で発信していただくのが大きな目的になっています。行程は、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの農作業体験や、プロジェクトの茶綿手ぬぐいを藍染めする体験、昼食の簡単な日本料理体験に加え、双葉郡内の現状を見て、感じていただくガイドツアーも含まれています。夜には、プロジェクトにお手伝いをしてくださっている地元の東日本国際大学の学生さんたちとの交流会も企画されています。なんとも盛沢山の内容です。留学生の皆さんの発信に乞うご期待!



▲エクスカージョンの案内

私たちの活動を会員として支えて下さい。会費納入をよろしくお願い致します。

会費: 活動会費 (実際に活動に参加される方と、会報購読という形で支援して下さる方) **2,000円/年**
賛助会員 (資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員) **10,000円/年**

郵便振替 (02110-0-24908) でお送り下さい。

高齢者による交通事故が大きな社会問題となっている。事故のニュースが流れるたびに人ごとではないと言いつつも、肩身の狭い思いをする。▼喜寿はおめでたい事なのだが、いつの間にか此の歳になってしまったのかの思いが強く、恥ずかしながらその自覚がない自分が悲しくなる。50歳の時に義母の介護問題を目前に運転の必要性を感じていたが決心が着かず迷っていた。「私が取れたんだから大丈夫」との姉のひとこと、丁度職場で期末手当が出たこともあって、とりあえず10万円を握って自動車学校へ。あれから27年、免許があればこそ今日の活動であつたと感謝せずにはいられない。▼先頃、2回目の免許更新時は80歳。それを機に返納するとのりに宣言すると、いきなり「何言ってるのよ動けなくなるじやないの」。もう一人は興奮気味に「近くに病院もお店も無いんだよ、どうやって生活するのよ」。確かに彼女の住まは山間地域にあるから返す言葉もなかった。▼52年前、14市町村が合併して誕生したいわき市は、当時日本一広い面積だった筈(その後全国で合併が進み現在は12位にランク落ちた)この事道路の整備は市内の隅々まで進んでいるが、都会のように公共交通網が整備されている訳ではないから移動手段は車に頼らざるを得ない。私も最近高速度道路を使わなくなった。時間を気にしなければ一般道で十分だと決めたからである。それでもピープルの事務局の仕事は次々と入ってくるから毎日少なくとも50キロは走る事になる。▼ところで、あのシルバーマーク、四つ葉のクローバー形もいし色彩も綺麗で可愛らしいから気に入っている。70歳の時から何の抵抗もなく貼っている。貼ってない同級生に理由を尋ねると馬鹿にされるのよ。貼るのは努力義務、義務違反ではない苦と反論された。その時から何故かシルバーマークの車が気になり数える癖がつかってしまった。ところが一日平均5台くらいがお目に掛からない。今の時代70代の高齢ドライバーが少なくなる訳がないし、思っている矢先、堂々と2枚のマークを左右に貼った車を発見。途端に「誰も馬鹿になんかしてないわよ。お互い安全運転で頑張りましょう」と声を掛けられたから笑ってしまう。